

# 第10回 ぷらっとカフェ

青梅ならではの  
子どもの居場所の作り方

# 今回の話し合いは・・・

- \* 青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に役立てます。
- \* 各テーブルに若手職員が参加します。
- \* これまでの話し合いからヒントを得ながら、具体的な「青梅ならではの子どもの居場所の作り方」を考えます。

# これまでのぷらっとカフェの開催 状況

| 回数  | テーマ  |
|-----|--|
| 第1回 | 6つのテーマ（青梅ならではの子育てについて考える）などについてグループでわかれて話し合い |
| 第2回 | そうだ！青梅に行こう！と思える魅力づくり                         |
| 第3回 | 青梅ならではの子育て                                   |
| 第4回 | 住みたい！住み続けたい！青梅市                              |
| 第5回 | みんなで考えよう！人口が減少するなかで、暮らしやすさを維持していくには          |
| 第6回 | 青梅ならではのコミュニティ                                |
| 第7回 | 青梅ならではの教育                                    |
| 第8回 | 商店街の活性化について                                  |
| 第9回 | 青梅ならではの空き家活用                                 |

# 青梅ならではの子どもの居場所の 作り方のヒント①

- 多世代で集まる。多世代がつながるシステムを
- 青梅に児童館がないのは、なくても居場所があったから？
- ハードでなく、ソフトの多世代館
- 空いた時間に自由に足を運ぶことができる場を
- 地域の人が学校に入り居場所をつくる
- 学校嫌いな子どもの居場所を。生活の中にお金をかけずに。
- アクセスしやすく、話しやすく、対話の持てる場を作る
- 大学生・高校生・中学生・小学生をつなぐ

# 青梅ならではの子どもの居場所の 作り方のヒント②

- 自然への関わり方を学ぶ
- 豊かな自然を生かす
- 深い歴史を活かす
- 「交流」により、子どもが広い視点を持てるようになる。
- 郷土愛を育む。ずっと青梅にいるより、一度外に出たほうがいい。
- 「危ない」ことの体験も必要？人への思いやりが欠如してしまう。
- 学校と家庭だけでは狭い価値観

# 青梅ならではの子どもの居場所の 作り方のヒント③

- 既存のコミュニティをつなげる（スポーツ、芸術）
- 地域の自治活動の連携
- 祭りは大切
- 大人が青梅を好きになるのが大切
- 芸術家がたくさん住んでいる
- 多様な価値観に触れることが大切
- おせっかいな大人をつくる

# 話し合いの進め方

- \* 本日は、「OST（自由会議）」方式で進めます。  
詳しい説明は、山口さんから。
- \* 「否定はしない」「断定しない」「未来を語る」  
の3つの点を大切に話を進めてください。